

2021年10月10日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時からです。

11時からは録画を視聴できます。

10月10日 聖日礼拝

前奏

招詞 イザヤ書49章13節

「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ」アーメン

会衆賛美 聖歌33(1, 2節)

会衆賛美 神の国と神の義を(1回)

主の祈り

交読 詩篇 19篇7〜14節

礼拝祈禱

使徒信条

マタイの福音書

13章1〜17節

説教

耳のある者は聞きなさい
荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌407(1, 2節)

献金 聖歌376

頌栄

祝禱

報告

後奏

感謝祈禱

■聖歌33「ああ ことばのかぎり」(1, 2節)

- ①ああ ことばのかぎり うたわまほし
主イエスのさかえと あいとめぐみ
- ②み名のかしこさを つたえまほし
よもの たみくさに よもの しまに

■神の国と神の義を(1回)

神の国と神の義を まず求めなさい

そうすれば みな 与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇19篇7～14節

- 7 主のおしえは完全で
たましいを生き返らせ
主の証しは確かで
あさはかな者を賢くする。
- 8 主の戒めは真っ直ぐで
人の心を喜ばせ
主の仰せは清らかで
人の目を明るくする。
- 9 主からの恐れはきよく
とこしえまでも変わらない。
主のさばきはまことであり
ことごとく正しい。
- 10 それらは 金よりも 多くの純金よりも慕わしく
蜜よりも 蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。
- 11 あなたのしもべも それらにより戒めを受け
それを守れば 大きな報いがあります。
- 12 だれが 自分の過ちを悟ることができるでしょう。
どうか 隠れた罪から私を解放してください。
- 13 あなたのしもべを 傲慢から守ってください。
それらが私を支配しないようにしてください。
そのとき私は 大きな背きから解放たれて 全き者となるでしょう。
- 14 私の口のことばと 私の心の思いとが
御前に受け入れられますように。
主よ わが岩 わが贖い主よ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 13章 1～17節

- 1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。
- 2 すると大勢の群衆がみもとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆はみな岸辺に立っていた。
- 3 イエスは彼らに、多くのことをたとえて語られた。「見よ。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。
- 4 蒔いていると、種がいくつか道端に落ちた。すると鳥が来て食べてしまった。
- 5 また、別の種は土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。
- 6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。
- 7 また、別の種は茨の間に落ちたが、茨が伸びてふさいでしまった。
- 8 また、別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。
- 9 耳のある者は聞きなさい。」
- 10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに「なぜ、彼らにたとえてお話しになるのですか」と言った。
- 11 イエスは答えられた。「あなたがたには天の御国の奥義を知ることが許されていますが、あの人たちには許されていません。
- 12 持っている人は与えられてもっと豊かになり、持っていない人は持っているものまで取り上げられるのです。
- 13 わたしが彼らにたとえて話すのは、彼らが見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、悟ることもしないからです。
- 14 こうしてイザヤの告げた預言が、彼らにおいて実現したのです。『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟ることはない。見るには見るが、決して知ることはない。』
- 15 この民の心は鈍くなり、耳は遠くなり、目は閉じているからである。彼らがその目で見ること、耳で聞くことも、心で悟ることも、立ち返ることもないように。そして、わたしが癒やすこともないように。』
- 16 しかし、あなたがたの目は見えているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。
- 17 まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているものを見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。

■聖歌407「見よ われは立ちて」(1, 2節)

①見よ われは立ちて なが戸をばたたく
迎えよ わが身を ながやに ながやに

※心の かけがね なにゆえ はずさぬ
迎えよ わが身を ながやに ながやに

②見よ われは なれの 罪をば にないて
十字架にかかりし イエスなり イエスなり

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しまし
う
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛
聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにあ
りますように アーメン」